

総事業費	157千円
交付金額	71千円

女性向け自分らしい働き方支援講座【菊池市】

地域の実情と課題

- ・本市は、男性就業者の占める割合が高い製造業及び農業に従事する就業者の割合が高く、労働力を確保していくためにも女性活躍は必須。
- ・就業者に占める女性の割合は全国と比較して高い。
- ・県内において雇用者で正規の従業員と派遣・パート等の割合を男女で比較すると男性は正規63.5%、パート37.8%に比べ、女性は正規36.5%、パート62.2%と非正規の割合が高い。
- ・令和3年市民意識調査において「性別による固定的役割分担意識」については、「同感しない」または「どちらかといえば同感しない」と答えた市民の割合が79.9%と過去最高となったものの、家庭の中で炊事・掃除・洗濯などの家事は、80.4%が主として妻が行っており、いまだ妻への負担が偏っている。
- ・固定的性別役割分担意識の解消を推進するとともに、子育てや介護を担っている女性が多様な働き方を選択できる環境づくりを行う必要がある。

事業の特徴

働く女性も、そうでない女性も、自分のできる事を、時間や場所にとらわれず、自分らしい働き方(在宅ワーク)をするためのスキルを学ぶ。

事業の効果

定員を15名として募集をかけたところ、18名の応募があり、在宅ワークや自身のスキル向上に対する関心の深さがうかがえた。また、講座終了後参加者へアンケートを実施したところ、「新しい知識を得ることができ、将来の選択肢のひとつになった」「思った以上に自分が活用できることが多いことが分かって良かった」「とっても便利、使ってみようと思った」など前向きな感想が多く、この講座だけにとどまらず、次に生かしていこうとする姿勢が見えた。

目的・目標

働く女性も、そうでない女性も、時間や場所にとらわれず、自分らしい働き方(在宅ワーク)をするためのスキルを学ぶ支援をする。隙間時間に生み出された在宅ワークにより、更なる社会参画を促すとともに家族との時間も仕事も大切に、自分らしい働き方でこれからのライフプランニングを築くことができるよう支援する。

【主な目標値】括弧内は実績

- ①参加者の講座に対する満足度:80%(アンケート結果:77.4%)
- ②講座受講後実践された方:3人(アンケート結果:すでに行動を起こしている方2名、受講した内容を実践した方4名)

連携団体

「菊池市女性団体代表者会」

菊池市内の女性団体が男女共同参画社会の形成に寄与することを目的に市内の女性団体15団体で組織。市民フォーラムや人権教育研修等を協働で実施している。

今後の課題

研修後のアンケートでは「チャットGPTは使ったことがなかったので、ためになったが時間が足りない」や「お金についての話で、時間配分は、後の方をもう少し多くしてほしい」などの声があった。講座において時間の配分を考慮すべきであった。事前にアンケートを取るなどし、どの部分にどれだけの時間を使った方が良いのかデータ化するなど、事前準備をどれだけやれるかが課題。

事業の概要

【女性向け自分らしい働き方支援講座】 まずは知ろう!新たな知識に触れて自分をアップデート!!(3回)

場所:菊池市七城公民館視聴覚室 ※託児あり

【第1回】(働き方の多様性を知ろう!)

日時:10月12日(土)10:00～ 参加者:15人

◆経験者の生の声

在宅ワークの働き方ってどんなもの?一日の流れや、
メリット・デメリットを経験者に語ってもらい、自分の働
き方を考えよう!

自分のリソースを洗い出し、働くことを深掘りしよう!

【第2回】(チャットGPTやAIの知識を活用しよう!)

日時:10月26日(土)10:00～ 参加者:17人

◆便利グッズ編

チャットGPTやAIの活用術を知り在宅ワークの幅を広げよう!

【第3回】(自分をアップデート!損はしない!!)

日時:11月9日(土)10:00～ 参加者:15人

◆お金編

公的保険(年金・医療保険・介護保険・労災保険・雇用
保険・在職老齢年金等)や、社会の仕組みを知ることで、
損をしない人生へ。

